



RALLY RAID & TRAIL MAINTENANCE  
Touring Competition / Endurance Race  
www.bike-joy.com  
coursecreate@aol.com

RALLY RAID & TRAIL MAINTENANCE  
Touring Competition / Endurance Race  
※中級者に向けた当初の  
コースクリエイトの守備範囲



www.bike-joy.com/b  
自転車遊び利用促進実証実験



自転車遊び総合研究会

80年代から90年代に出会った、長崎県サイクリング協会の若山さん、  
東京都サイクリング協会の左近さん、フランス・スターバイクのシルバン、  
そして、ニューサイ編集長の今井さんやサイスポ編集長の宮内さん。

彼らの影響を受け、中級者以上のサイクリストに対して、  
“キャンピング”や“マウンテンバイク”や“スポルティフ”の『ツーリングコンペティション』を仕掛ける。  
そのノウハウを“シマノバイカーズ”や“下関サイクルマラソン”や“サイクルエイドジャパン”に還元するが…。

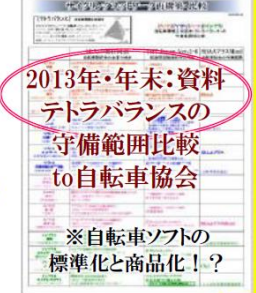


Open-road, Closed-circuit,  
School, Media, Academy

Open-road, Closed-circuit,  
School, Media, Academy  
※自転車市民権獲得に向け  
変更した守備範囲



2013年新春:活動指針  
サイクリングネットワークの再構築/雑誌分割活用の提案!



2011年3月の東日本大震災で自転車に対する見方は変わった。しかし、自転車の走行環境は相変わらず。逆に“自転車ソフトの標準化”が急務に！  
中級者向け企画から守備範囲を変更し、実験企画の中から日常利用でも参加できる『ツーリングコンペティション』として「THT26」を探り出す。  
それは「わらしべ企画」の性格を持っており、“東京国際自転車展”、“旅チャリ”、“Bikebiz”、“南区サイクリングプロジェクト”などから声が掛かる。  
そして自転車市民権獲得のためには、他の道路利用者との相互リスペクトが必要であり、それにも「THT26」が有効では？

※点を線で結び面を遊ぶ「THT26」は、  
偶然性優先ルールのため、誰にも上位入賞の  
チャンスがあり、さらに主催者の大小も選ばず、  
移動手段も選ばず。それを「毛利チャレンジ」に応用！



2014年秋:補足資料  
自己責任と旅人法

※マスツーリズムに対する  
オルタナティブツーリズムの提案!



2014年夏:企画メモ  
毛利チャレンジ元ネタ  
to いわぐに研究会



2014年秋:企画フラッシュ  
岩国かるたドライブ拡張型  
明治維新150周年応援企画

単独のイベントだけでは解決出来ない「MTBの山道走行問題」。そのため、他のエリアとの連携の模索を参加者増の伏線として行う。✓



2014年秋  
企画メモ  
CYCLING  
REVOLUTION  
to シマノBC課



2015年春  
メニュー案

※シマノバイカーズフェスティバル30周年に向けて、参加者の倍増を目指した、ブームから文化への提案



2015年春  
補足資料



2015年初夏  
招待状

しかし、想像以上にMTB人気は低空飛行で、チーム招待に大会主催者は呼応したものの、その先のユーザーは高齢化していた…！？



2015年夏:企画メモ  
「レース+ツーリング+ワークショップ」と「地域貢献型サイクリングクラブ」  
to 日本自転車環境整備機構

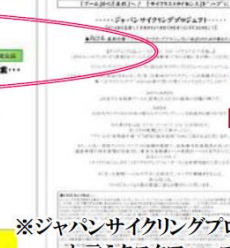
サイクリングイベントが急増する中、JCAは会員確保に苦勞している。その理由は明らかだが、その一方で、自転車市民権獲得署名は数多く集まっている。  
この矛盾を、「日本でのツーリングコンペティションは時期尚早」とのアドバイスで守備範囲変更の決断をさせたくれた自普協のS氏に、「獲得に向けた現状は、何合目ですか？」とぶつめた。回答は、「山への登頂ルートを探っている状態」だ。。  
それも含め、日本自転車環境整備機構でも「街道・山道・町の道」を扱えないか？

文科省スポーツ立国戦略:する・みる・ささえる(平成22年)

「サイクリストライセンス」と「観光メンテナンス」  
「街道」「山道」「町の道」を網羅する『ツーリングコンペティション』の等身大企画を実践する「地域密着型マルチサイクリングクラブ」は、  
「春需でソフトも売ろう！」の具現化の必要十分条件です！その要素のひとつが「自転車免許」や「S級スタッフ」と言った「サイクリスト  
ライセンス」です。しかしそれは自転車関係者の身内の課題であり、地域と繋がるための「観光メンテナンス」を改めて提案します。。  
歩くより広範に、車より丁寧に、Bike-is-Good!



2016年新春:活動指針  
「サイクリストライセンス」と「タスクフォース」



2016年2月27日  
いわぐに研究会ミーティング資料  
「毛利チャレンジ」実現に向けて！

※ジャパンサイクリングプロジェクト  
と言うタスクフォース。

2016年・年末  
活動指針マイナーチェンジ  
「観光メンテナンス」の再提案